

区内企業の実例から学ぶ

# “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

主催

江戸川区 環境部  
気候変動適応計画課

区内モデル事業者

**守製鉢株式会社**  
**守 伸之 様**



# アジェンダ

- ・会社概要
- ・取り組みのきっかけ
- ・現状の分析・問題点
- ・CO<sub>2</sub>排出量削減の対策
- ・電力使用量削減の対策
- ・対策の結果
- ・まとめ

**STEP①**

**STEP②**

**STEP③**

# 守製鉄株式会社 会社概況

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

所在地	東京都江戸川区中央2-19-14		
役員	代表取締役社長 守伸之	常務取締役 守恭成	
	取締役 守紘世	監査役 石尾肇 (公認会計士)	
創業	1917年4月		
設立	1943年7月		
資本金	1,000万円		
業種	金属製品製造業		
生産品目	リベット・特殊ネジ・冷間圧造部品等		



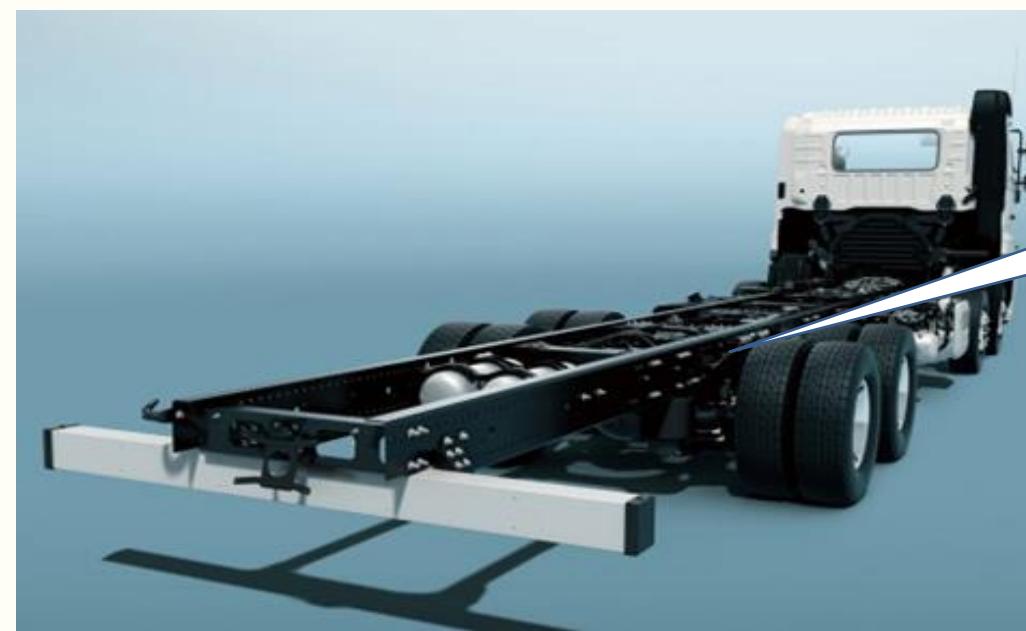
区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

1917年4月	本所区にて守製鉢工場創業
1938年3月	江戸川区に新工場建設
1943年7月	守製鉢株式会社設立
1955年5月	JIS工場に認定
1971年2月	第二工場増設
1974年6月	優良申告法人表彰（以後7回表彰）
1994年11月	新本社、工場完成
1999年8月	本社、営業所統合
2006年10月	ISO9001認証
2024年10月	電力100%再生可能エネルギーに変更



# 当社製品使用例

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO



フレーム



ブレーキ



ドア

スタート



端子

気づかれにくいが社会を支える重要な部品を製造しています

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# きっかけ：顧客要求事項の変化

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

Q (品質) C (コスト) D (デリバリ)



売上に直結しない要求事項が近年増える

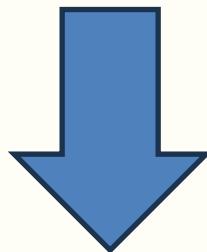
CSR調達（企業の社会的責任）

- ①ガバナンス
- ②コンプライアンス
- ③BCP
- ④情報セキュリティ
- ⑤人権
- ⑥カーボンニュートラル

# カーボンニュートラル目標

2030年度 Co2排出量

Scope3にて2013年度対比 **46%削減**



達成する為に

## ①情報収集

東京都中小企業振興公社・江戸川区・商工会議所など

## ②自社の現状分析

環境パフォーマンス指標算定 2013年以降

# STEP① 現状分析：環境パフォーマンス指標

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

2013 年度(平成25年度) 守製鉄株式会社環境パフォーマンス指標算定報告書

①エネルギー使用量集計

守製鉄	S1※1				S2※2		
	ガソリン(ℓ)	軽油(ℓ)	灯油(ℓ)※3	合計(ℓ)	電力(kWh)		
					昼間	夜間	合計
	2,776.15	1,830.44	4,341.00	8,947.59	292,865	24,272	317,137

※1:スコープ1 ※2:スコープ2 ※3:灯油は眞商石油(株)と塙本(株)の合計

・ S2:電気使用量(kWh)入力

電力(kWh)	2013年								2014年			年間合計 (kWh)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
昼間	25,147	16,827	21,270	27,157	27,204	27,459	22,703	22,500	25,125	24,557	22,146	24,470	200,865

二酸化炭素排出量集計(S1 & S2)

有効桁数は3桁とし、端数を切り上げとする。

(t-CO2)

	燃料				電力			総合計
	ガソリン	軽油	灯油	S1合計	昼間	夜間	S2合計	
守製鉄	6.44	4.72	0.00	11.16	109.53	9.08	118.61	129.77

自社CO2排出量の91%が電気であることが判明

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

## STEP② CO<sub>2</sub>排出量削減の対策

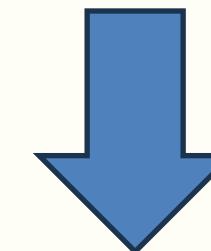
THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

「自社CO<sub>2</sub>排出量の91%が電気である」すなわち

電力を再生可能エネルギー化すれば自社CO<sub>2</sub>排出量91%削減可能

### ●問題点

大幅に電力費が上昇してしまう



その一方で



### ●対策

江戸川区からの紹介

エナーバンク（エネオク）

首都圏再生可能エネルギー共同購入プロジェクト

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# エネオクとは

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

エネオク | 首都圏再エネ電力共同オークション

地域のみんなで電気料金を削減しつつ  
再エネ化しませんか?

募集期間 2024年8.1 ~ 2024年9.30

参加費は無料

見積価格を見て途中離脱が可能

異なる料金体系での比較もサポート

参加条件

※詳細条件は  
WEBサイトをご覧ください

● 首都圏内の事業所が対象です。(電力区分:特別高圧・高圧・低圧対象)  
● 募集期間外での対応は事務局までご相談ください。  
● 再エネ電力メニューへの切替検討を必須としています。(再エネ比率の選択可能)

首都圏 再エネ電力共同オークションの実績

2023年11~12月開催 実績(特別高圧・高圧契約対象)

※1 料金平均削減率	※2 共同購入による プラス削減効果	※3 再エネ率
17.8%	8.0%	90%

※1: 東京電力が2022年9月に発表した2023年4月から供給開始の新標準メニュー(+環境価値)との料金比較  
※2: 個別需要家で契約する場合の見積りより、共同購入することでさらに8.0%削減を獲得  
※3: 再エネ比率30%、50%、100%から選択いただいた結果から算定した平均割合(高圧/低圧、混在)

削減事例①

- 低压1契約 本社ビル
- 提案プラン: 固定単価型 (燃料調整費は独自の設計)
- 東京電力標準メニューからの削減額: 約8万円/年

削減率 12.5% 再エネ率 100%

削減事例②

- 高圧2契約 合計約200kW
- 提案プラン: 固定単価型 (燃料調整費は旧一電と同等)
- 東京電力標準メニューからの削減額: 約180万円/年

削減率 15.3% 再エネ率 100%

連携自治体

神奈川県 港区 新宿区 世田谷区 港北区 足立区 武藏野市 品川区 横浜市 多摩市 曙町 千葉市

- ・自治体と連携し、再エネ電力や非化石証書の共同購入を行う  
⇒共同購入でロットが大きくなる為、価格抑制○

- ・複数回のオークションにて電力会社が入札を行う  
⇒オークション形式の為、価格抑制○

- ・エネオク利用料が無料で手続きも簡単

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# エネオク利用結果

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

## ● 結果

電力の100%再生可能エネルギー化へ移行

Co2排出量 **△91%** (2013年対比Scope1 & Scope2)



## ● 電力費

2024年10月から「しろくま電力」 **△10%** 2023年度東京電力比

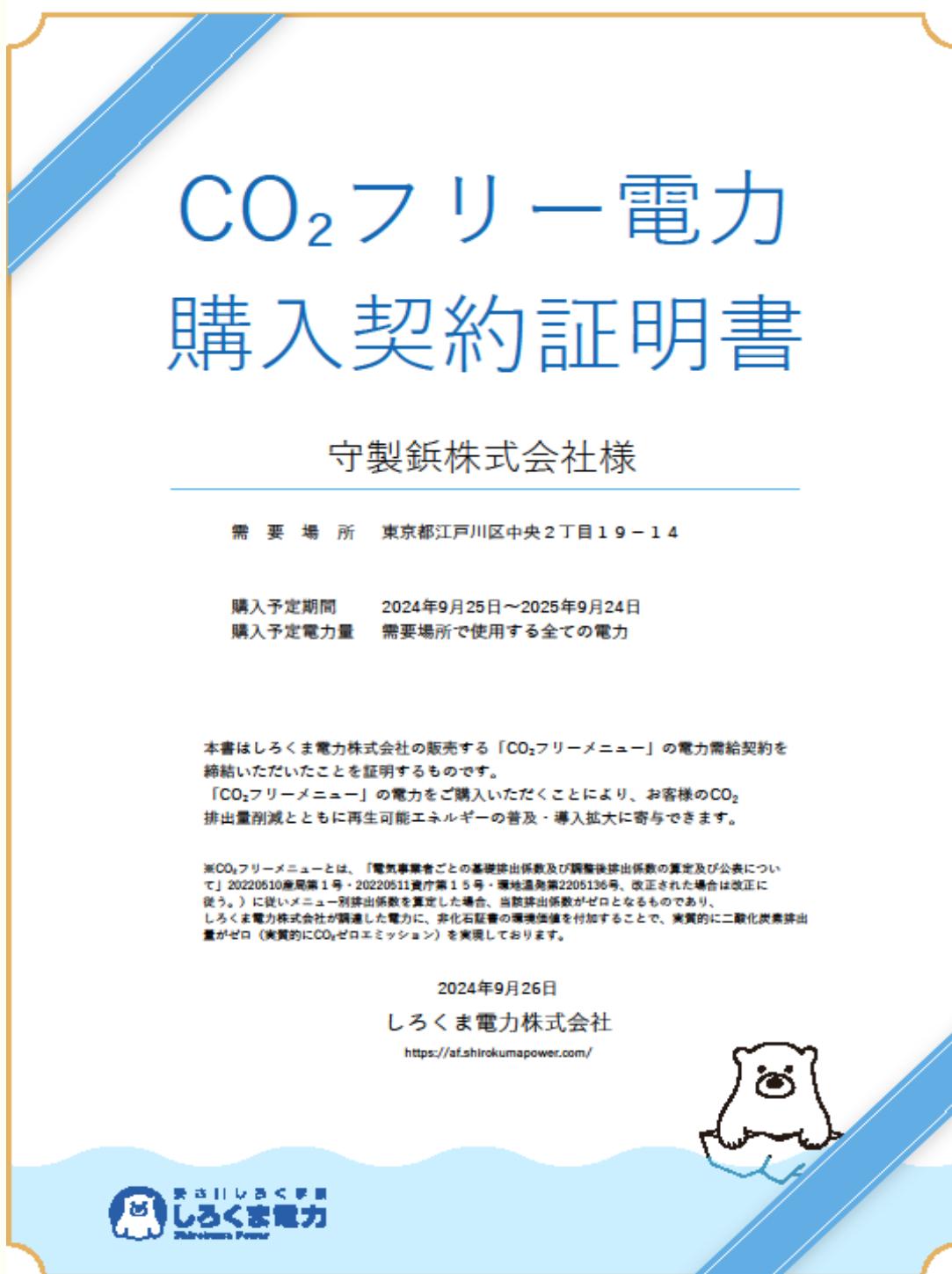
2025年10月から「FPS」 **△12%** 2024年度比  
※予定

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# 再生可能エネルギー証明書

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

2024.10~2025.9



2025.10~



法人名 守製鉄株式会社  
需要場所 守製鉄株式会社  
所在地 東京都江戸川区中央2丁目19-14  
契約期間 2025.9.25-2026.9.24



「gREEnプラン」とは株式会社FPSが調達した化石燃料を主とする電源に非化石証書の環境価値を付与することで実質的CO<sub>2</sub>排出量の削減を実現しています。

※諸条件などについては電力需給契約書に則ります



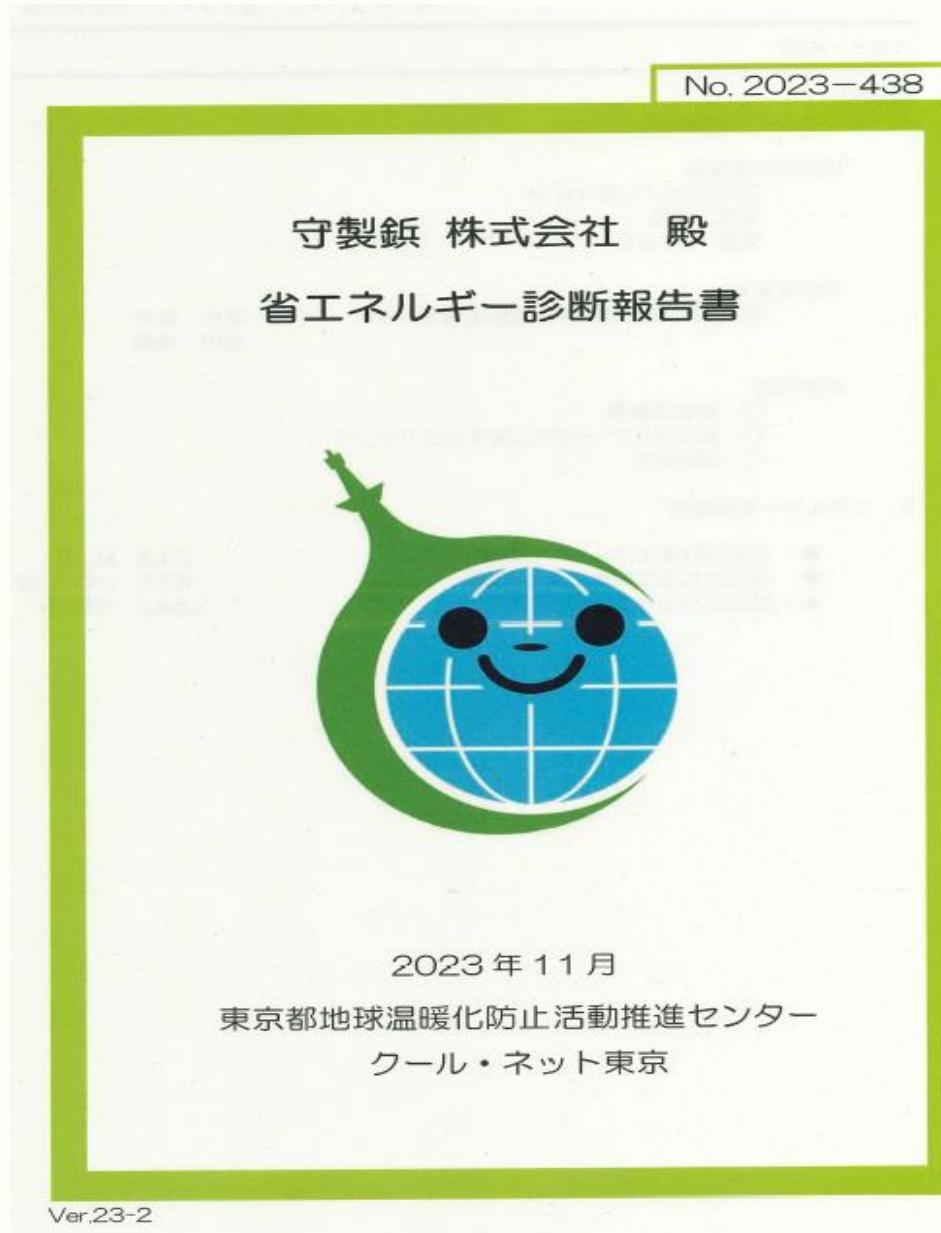
2025年9月25日  
株式会社FPS



区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# STEP③ 電力使用量削減の対策 「省エネ診断の受診」

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO



設備投資なしと設備投資ありにてそれぞれ助言をいただく

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# クールネット東京診断内容

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

## ●設備投資なし①

### 1.エネルギー管理体制構築

エネルギー管理標準  
守製鉄株式会社

目次

改訂履歴表

- I. 事業所 全体の概要
  - I - 1. 建物の概要
  - I - 2. エネルギー供給契約の概要
  - I - 3. エネルギーを消費する設備の概要
  - I - 4. エネルギーの使い方
- II. エネルギー管理マニュアルの目的と適用範囲
  - II - 1. エネルギー管理マニュアルの目的
  - II - 2. エネルギー管理マニュアルの適用範囲
  - II - 3. エネルギー管理方針
- III. 管理体制
- IV. 運用方法
  - IV. エネルギー管理マニュアルの作成及び運用
- V. 目標の設定
- VI. 社員の教育、訓練
- VII. エネルギー使用状況の把握と共有
  - VII - 1. エネルギー使用量の把握
  - VII - 2. エネルギー消費原単位の把握
- VIII. エネルギー管理標準の見直し

【エネルギー管理マニュアル】

- ・事務所
- ・工場

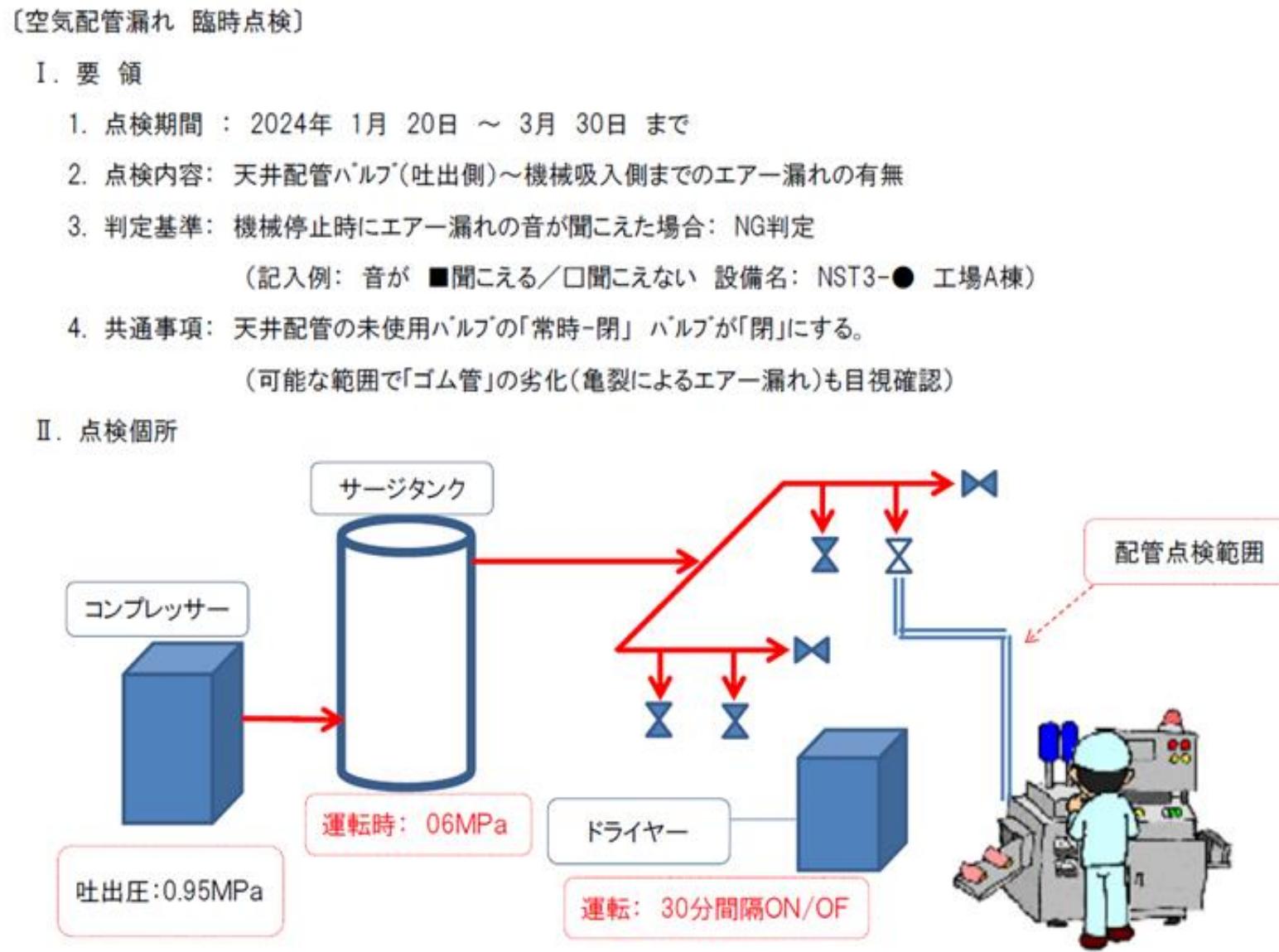
### 2.照度の適正化



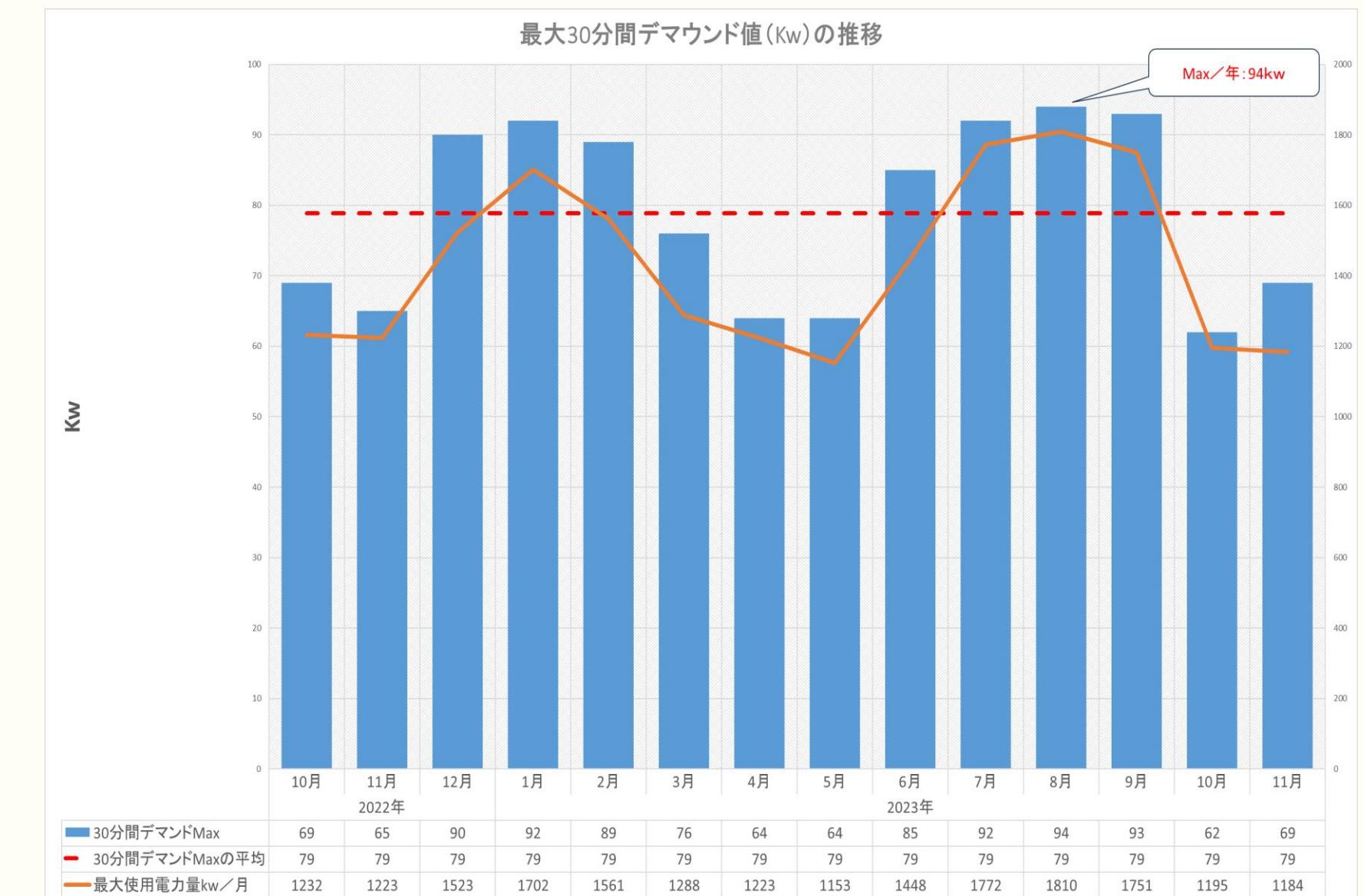
区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

## ●設備投資なし②

### 3.工場内エアー漏れ点検



### 4.デマンド管理の活用



区内企業の実例に学ぶ“成果につなげる”脱炭素×職場改善

# クールネット東京による診断内容

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

## ●設備投資有り

1. 照明のLED化	必要投資	600万円
2. 高効率変圧器の導入	必要投資	700万円
3. イバーター制御付コンプレッサ	必要投資	600万円
4. 太陽光発電導入	必要投資	1,000万円

投資金額が大きい



# 補助金利用

- ① 東京都 ゼロミッション化に向けた省エネ設備導入・運用改善支援事業
- ② 江戸川区 江戸川区物価高騰対策省エネ設備等投資支援事業補助金



**併用可・申請は自社対応**

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# 投資内容

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

- 2024年度  
照明のLED化  
消費電力 15%削減(従来比)  
自社負担 20万円



- 2025年度  
インバーター付コンプレッサ導入  
消費電力 12%削減(従来比)  
自社負担 15万円



区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

# 最終結果

～2013年対比～

THE PROFESSIONAL  
MORI BYO

Co2排出量

91%削減

※Scope1 & Scope2

電力使用量

12%削減

電力費（単価）

20%削減

自社負担金額

約35万円



区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

20

# その他効果

- 早期対応による顧客満足度・信頼度アップ
- サステナブル経営の第一歩
- 全社員の省エネ意識の向上

## 気づいた大事なこと

- まずは自社の現状を知ることが大事
- 補助金等様々な情報にアンテナを張る
- 後回しにせず経営層が先頭に立ち推進する

# ご清聴ありがとうございました



## 守製鉄株式会社

区内企業の実例に学ぶ “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

区内企業の実例から学ぶ

# “成果につなげる” 脱炭素×職場改善

主催

江戸川区 環境部  
気候変動適応計画課